

2014年11月6日

## 第65回日本電気泳動学会総会のご報告

日本電気泳動学会会員の皆様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

10月24日～25日に、横浜市の横浜情報文化センター（日本の新聞発祥の地）で第65回日本電気泳動学会総会シンポジウムが開催されました。今回の大会には197名の参加がありました。24日朝、日本電気泳動学会国際学術賞平井賞を受賞されたカリフォルニア大学サンフランシスコ校のO'Farrell教授の受賞講演「Development of two-dimensional gel electrophoresis and early steps in the evolution of electrophoresis methods」が情文ホールにて開催されました。O'Farrell教授は受賞講演で「O'Farrellの二次元電気泳動」の開発の経緯や最近の電気泳動技術開発の状況を紹介されました。24日の午後から25日にかけては情文ホールでシンポジウム1「最新の電気泳動技術30の話題」が、また、25日午後には、大会議室においてシンポジウム2「電気泳動による臨床検査—電気泳動で明らかにされる新症例」が開催されました。いずれのシンポジウムでも興味深い研究成果の報告があり、活発な議論が行われました。ご講演下さった先生方、座長の先生方、そして、大会に参加された先生方に心からお礼申し上げます。

今回の大会では、大石正道、近藤格副会長が特別編集した生物物理化学 電気泳動 58巻第2号特集号「電気泳動最近の話題」（正会員と準会員には無料で、メール会員と非会員には千円）と橋本信也元会長、名誉会員が寄贈して下さった記念キーホルダーを配布しました。

大会の参加費、昼食費を徴収しませんでした。GEヘルスケアジャパンをはじめとする企業のご協賛によって大会を運営することができました。協賛企業にお礼申し上げます。なお、総会シンポジウムを運営した横浜市立大学のスタッフに謝意を表します。

総会長 平野 久

第65回日本電気泳動学会総会シンポジウム

## 《参加者からいただいたご感想》

（お送りいただいたご感想を無記名で掲載させていただきました。アンケート調査の結果ではありません。掲載に問題がある場合はお知らせ下さい。削除いたします。）

【電気泳動の面白さ、素晴らしさが凝縮されていたと思います。魅力的な方法があることを再認識でき、私にとってもたいへん有意義でした。来年も同じ人が重なってもよいと思いますので、このような形ができれば、また皆さん参加すると思います。ただ、せっかく素晴らしい内容であったのに学生が少なかったように思います。この点は電気泳動学会だけではないのですが、気になるところでした。】

【企画は大成功であり、たいへん素晴らしい総会であったと思います。こちらからの参加者も異口同音の感想を述べています。】

【講演をお聞きし、非常に勉強になりました。また、電気泳動で臨床に貢献できることがたくさんあることを再認識することができました。】

【久しぶりに盛り上がった学会で感激しました。来年以降、この活性化がつながってってくれることを期待したいと思います。】

【久しぶりに参加させていただいた学会でしたが、以前にも増して活発な発表・討論が行われていることに感服しました。】

【O'Farrell 教授のすばらしい講演をお聞きして、感激して帰りました。O'Farrell 教授は、ご自身の業績について、それほど言及しませんでした。やはり今では当たり前の等電点電気泳動と SDS ゲル電気泳動とを組み合わせるという発想に至ったということはすばらしいことだったと再認識しました。1975 年当時は、一般的でなかった等電点電気泳動の改良についての苦労話にはうなずけるものがありました。】

【アイデア満載のプログラム、企画の結果、大盛況でしたね。朝一番のポスター発表、土曜日の朝とは思えないくらい盛り上がっていました。私も多くの方と一度にお会いすることができました。】

【多方面の最近の進歩を知ることができました。私の長年望んでいた形の電気泳動学会を見ることができ、とても幸せでした。】

【どの先生方も情熱を持って、新しい研究を進めているのを見て、私などは益々頑張らねばと思いを新たにしております。また、懇親会では、早速、他の先生と共同研究の話も出て、近年には経験のない、たいへん実りある学会となりました。】

【シンポジウムを聞かせていただき、いろいろなアプローチがあり、我々も真似してやってみたいと思うようなことが多々あり、たいへん参考になりました。電気泳動は日常茶飯事に用いている手法ではありませんが、まだまだ奥が深く、原理を理解した上で用いることが大切であると実感しました。また、どのようなポイントに注意すべきかなどについても、講演者の先生の話の端々に教科書や論文には記載されていないコメントがちりばめられており、一所懸命メモしました。そして、何よりもいろいろな研究分野の話題について話を聞くことができ、勉強させていただきました。】

【日本電気泳動学会には今回初めて参加させていただきましたが、皆様の講演やポスター発表を拝聴して、私にとっても「こんな応用例があったのか」「自分でも利用してみたい」「話には聞いていたが、この手法の開発者の意向はここにあったのか」など、たいへん刺激になりました。】



【今回初めて電気泳動学会に参加させていただいたのですがどの発表でも研究の動機とその解決策がはっきりしてたいへん興味深く、また強く刺激を受けました。今後も機会がありましたら、電気泳動学会にお邪魔させていただきたいと考えております。】

【これからの学会の発展が期待されることを感じました。会員数が増えたこと、学術集会に若い研究者が沢山来たこと、学会の発表を聞いて研究者に活気を感じたこと、そして何よりも平井賞を復活させたこと等々、種々の成果に感じ入っております。】

### 《大会に参加されなかった会員の皆様》

大会に参加されなかった正会員、準会員、名誉会員、企業会員には、事務局から生物物理化学 電気泳動第 58 巻第 2 号特集号と本大会のプログラム・抄録集をお送りします。また、メール会員には千円（送料込み）で頒布しますので、メールで事務局宛（secretariat@jes1950.jp）お申し込み下さい。送金方法はお申し込み時にメールでお知らせします。

### 《12 月末までのキャンペーン》

12 月末までに非会員あるいはメール会員の方が正会員または準会員に変更されると、上記特集号、プログラム・抄録集、記念キーホルダー（合計 3 千円相当）を無料で差し上げます。なお、上記大会で正会員または準会員になった方で、特集号を千円で購入された方はご連絡下さい。料金をお返しします。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

お問い合わせ先：

日本電気泳動学会総会事務局

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学先端医科学研究センター 木村弥生

E-mail secretariat@jes1950.jp ※ お問い合わせはメールでお願いします。

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局（secretariat@jes1950.jp）宛お願いいたします。